

2020 年度 経済学部 FD 活動報告

2020 年度の経済学部 FD 活動計画に従って下記の活動を行った。

1. 学生対象

(1) 「学生生活とその成果に関するアンケート」

毎年 12 月に 4 年次生を対象として行っている学生生活とその成果に関するアンケート（以下、学生生活アンケート）を 2020 年度も実施した。このアンケートでは、大きく「進路」、「卒業論文」、「学生生活」、「経済学部の教育」の項目について 18 個の質問項目を設定している。今年度のアンケートはコロナ禍の影響により、オンラインで実施した。

このアンケートの結果は FD 委員によって分析され、その内容が 2021 年 3 月 1 日の第 4 回経済学部 FD 研修会において報告された。また、毎年この結果と分析をふまえて次年度の経済学部研修会の議題を設定する。

(2) 「経済演習制度」

2020 年度に卒業する学生には 3 年間のゼミ活動が必修として義務づけられている。1 年次には、経済基礎演習において担当教員の指導を受け、議論の仕方や資料検索の方法、論文・レポートの書き方などを学び、全てのゼミで春学期に「書評」または「修了レポート」を、秋学期に「修了論文」を提出することとなっている。

3・4 年次には、経済専門演習において 2 年間、同一の教員から専門的な指導を受け、最終的に卒業論文の作成へと結びつける。この 2 年間の内に、国内外の他大学との研究発表会やインターゼミと呼ばれる活動を行うゼミナールも存在している。4 年次の最後には、卒業論文を提出しなければ経済専門演習 IV の単位が与えられない。学生生活アンケートでは 91.6%が 3 年間の経済演習制度に「非常に満足」、あるいは「まあまあ満足」と回答していた。

(3) 「能力別クラス編成」

2009 年度から「経済学のための数学」で、2012 年度から「ビジネス英語」と「時事英語」で能力別クラス編成を実施している。受講生の状況に応じて到達目標や教授方法に差異を持たせることで、きめ細かな指導が可能となっている。学生生活アンケートでは、90%以上の学生が能力別クラス編成に満足している（「経済学のための数学」に対しては 92.3%、「ビジネス英語」、「時事英語」に対しては 90.3%）。

(4) 「経済学部オリエンテーション」

経済学部では、例年、3/31～4/3 にかけて、新入生に対して学部長講話、経済学部のカリキュラム説明、1 年次のゼミガイダンス、第 1・第 2 クォーターの履修登録指導、経済

学部学び方講座（2020 年度は別の日程（6 月 10 日）にオンラインで実施）といった内容の新入生ガイダンスを実施している。新入生にとっては最初に大学と関わる場であり、ここでカリキュラムのねらいやゼミの内容、学生生活上の留意点、進路決定に向けた心構え等について説明を受けたり質問したりすることができる。

しかしながら、2020 年度は、コロナ禍の影響のため、4 月 20 日に、急遽、オンラインでオリエンテーションを行い、経済学部のカリキュラム説明、1 年次のゼミガイダンス、第 1・第 2 クォーターの履修登録指導を行った。限られた時間内で、しかも初めてのオンラインでの開催となり、不安であったが、効率よく実施できたことで問題なく無事に行うことができた。

(5) 「経済学生論集」

指導教員から推薦された個人やグループによる論文を、『経済学生論集』（南山大学経済学会発行）としてまとめている。2020 年 9 月に刊行された第 34 集には 8 編の論文が掲載された。また、論集の最後には、2019 年度に提出された全ての卒業論文のタイトルが記載されている。

(6) 「学部長表彰者との懇談会」

毎年 5 月に、成績優秀者に対する学部長表彰式の後に、学部長と学科長が表彰を受けた学生との懇談を行っている。ここで集められた意見は教授会や学部研修会などで報告され、必要があればそれに対する改善提案がなされる。ただし、2020 年度は、コロナ禍の影響のため中止した。

2. 教員対象

(1) オンライン授業に関するサポートチームの立ち上げ（4 月 9 日）

2020 年度は急遽、4 月からオンライン授業が行われることになったため、経済学部内で学部教員 4 名から構成されるサポートチームを立ち上げた。学部内教員からのオンライン授業での操作に関する質問や問題点の解消に向けて、情報共有し対応した。

(2) 第 1 回経済学部 FD 研修会（7 月 22 日）

第 1 回経済学部 FD 研修会では、「経済学講義におけるオンライン授業について」というテーマで、理論とデータを扱う経済学の授業での課題について、学部構成員間で議論を行った。この研修会には経済学部教授会構成要員全員が参加した。

(3) 経済学部研修会（第 2 回経済学部 FD 研修会：9 月 2 日）

2020 年度経済学部研修会では、「オンライン授業の評価について」、「経済基礎演習Ⅰの

図書館講習について」、「担当教員の授業コマ数について」、「経済基礎演習Ⅱ予備登録の動向について」、「経済基礎演習Ⅱの履修条件について」、「経済専門演習Ⅰ予備登録の方法について」、「今後の新入生ガイダンスについて」などについて議論した。また、「入試種別による成績追跡調査」についての報告があった。この研修会には経済学部教授会構成要員全員が参加した。

(4) 第3回経済学部FD研修会（2月19日）

第3回経済学部FD研修会では、「ハイブリッド授業の今度の可能性について」というテーマで、コロナ収束後も引き続き行われる可能性が高いハイブリッド授業について、他大学の取り組みも紹介しつつ議論した。この研修会には経済学部教授会構成要員全員が参加した。

(5) 経済学部FD委員会（メールによる報告・議論；2月26日－3月2日）

FD委員、教務委員、入試広報委員、学生委員、キャリアサポート委員で構成される経済学部FD委員会を開催し、2020年度のFD活動を確認した上で、2021年度のFD活動計画について議論した。

(6) 第4回経済学部FD研修会（3月1日）

「学生生活アンケート」の分析結果について報告・議論が行われた。今年度も、2019年度と同様に、「進路」、「卒業論文」、「学生生活」、「経済学部の教育」に関する項目について、アンケート結果を集計・分析し、2020年度の特徴を明らかにした。

上記の2020年度の経済学部FD活動について、半期ごとに、3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッションポリシー）の内容を再確認したうえで、全てのFD活動が、ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーに基づく活動であったことを確認した。

以上